

## 豊中市における都市受信障害対策共同受信施設の地上デジタル放送対応と関連事業の概要

### 市が主体的に行う事業

#### 市有建物等の共同受信施設改修

- ・アナログ対応のみの共同受信施設 35施設
- ・受信者約3000世帯
- ・平成19年度から20年度にかけてCATV敷設によるデジタル対応予定
- ・想定費用 約3億弱  
内平成19年度予算 30,000千円

#### 市民への周知啓発協力

- ・総務省からの要請に基づき
- ①地域へのアナログ波停波の啓発ビラ配布協力
- ②広報誌へのアナログ波停波お知らせの掲載協力

#### 相談窓口の開設

- ・エキスタとよなか（私鉄駅舎内の地域情報化推進施設）において毎週日曜日に、CATV会社がデジタル相談会を開催

#### 市民アンケートの実施

- ・市の次期情報化推進計画策定にあたり実施した市民アンケートにおいて、個人のデジタル放送対応の現状と意識調査を実施（集計中）

#### デジタル放送コンテンツの研究

- ・CATV会社と共同で、地域SNSの情報を加工し、デジタルコミュニティチャンネルでのデータ情報提供について可能性を研究

### 市がサポートする事業

#### 民間の建物等の共同受信施設改修

- ・CATV会社が、民間の建物等の所有者へデジタル対応が必要なこととCATV加入キャンペーンを実施

#### 民間の施設について市民からの相談

- ・民間の都市受信障害対策共同受信施設利用者からの相談があれば、一般論としての回答や相談先としてD-PAや総務省などを紹介

### 地上デジタル放送対応に係る国への要望

- ①2011年の地上デジタル放送への完全移行に際しては、すべての市民が受信できる環境を整備し、特にデジタル放送化に伴い共聴施設改修等の必要が生じた場合、市民に過剰な負担を強いることのないよう支援措置等を講じられたい。（平成18年度全国市長会重点要望）
- ②共聴受信施設利用者のデジタル対応に係る相談窓口の周知を図られたい。